

昭和大学藤が丘病院

施設背景・特徴、診療状況など

- 昭和大学の9附属病院の一つであり、横浜市北部地域・東京南部の地域医療を担う高度急性期病院である。
- 2017年横浜市小児がん連携病院の指定を受けるとともに、小児がんAYAセンターを組織し周辺地区からのAYA世代小児がんを受け入れている。



AYA支援チームの成り立ちとチーム構成職種

- 役割：AYA世代のがん患者の抱える諸問題に対し、情報を提供し問題を解決できるようにコーディネートする。
- 今後の方向：地域のすべてのAYA世代のがん患者が、疾病の管理を行いながら、満足度の高い生活を送る。
- メンバー
医師（小児科血液がん専門医、小児内科医）、
腫瘍・緩和医療科医、血液内科医、乳腺外科医）
看護師（がん看護専門Ns）、薬剤師（がん専門薬剤師）、ケースワーカー、事務担当者
- 2018年度の目標
既存の小児がんAYAセンターの現状とその整理
AYA世代がん患者に対する...
医療従事者の認識の啓蒙、AYA世代がん患者のリアルタイム把握、
診療体制の整備、相談窓口を明確化、積極的な要望の確認

2018年度の活動

- AYA支援チーム立ち上げ
 - 立ち上げ委員会（2018.8）：従来の小児がんAYAセンター委員会のメンバー中心に開催。
- 既存の小児がんAYAセンターの現状とその整理
 - 就学、妊孕性維持に対する実績と、その問題点を具体的に検討した。
- 医療従事者の認識の啓蒙、AYA世代がん患者のリアルタイム把握、
- 診療体制の整備、相談窓口を明確化、積極的な要望の確認

項 目	
既存のAYAセンターの整理と問題点の把握	○
院内外医療従事者への啓蒙	△
AYA患者の随時把握	△
診療体制改善	×
相談窓口の明確化 一元化	△
積極的な要望の確認	△

2019年度以降の活動の目標と課題

- AYA世代がん患者をリアルタイムに把握する。
- 個別のニーズをリアルタイムに把握できるようにする
- 患者会の設立を支援する。